安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	05-6784-2	**版**	7.00
発行日	2024/06/27	**前発行日**	2021/09/02

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
Ｓｃｏｔｃｈ－Ｗｅｌｄ　ＤＰ－１０５（クリア）

3M ストックナンバー
62-3287-1430-8　62-3287-1435-7　62-3287-3530-3　62-3287-3830-7　FS-9100-3635-9
FS-9100-3636-7

7010367387　7100076770　7100076786　7010309884

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

05-6783-4, 05-6781-8

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

キット：コンポーネント 情報修正.
セクション１：SAP Material Number 情報の追加.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合

わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2026, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	05-6781-8	**版**	13.00
発行日	2026/10/08	**前発行日**	2024/06/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

Ｓｃｏｔｃｈ－Ｗｅｌｄ　ＤＰ－１０５（クリア）　Ｐａｒｔ　Ｂ

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

構造用接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ａ
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
エポキシ樹脂 2	30583-72-3	70 - 80
エポキシ樹脂 1	25068-38-6	22
オルガノシラン	2530-83-8	1.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。すすぎ続ける。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
アルデヒド	燃焼中
炭化水素類	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
塩化水素	燃焼中
ケトン類	燃焼中
毒性蒸気、微粒子	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・

重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

暴露の可能性が高い用途（例：スプレー、飛沫発生が予見される用途など）に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	粘性液体。
色	無色
臭い	わずかなエポキシ臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=115.6 °C
引火点	>=115.6 °C［*試験方法：*ペンスキーマルテン密閉式］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	<=27 psia［試験条件： 131 ° F］
相対蒸気密度	*データはない。*
密度	1.11 g/ml
比重	1.11 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*

分解温度	*データはない。*
動粘性率	4,505 mm2/sec
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	< 20 g/l ［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	1.5 %［*試験方法：*カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出］［*詳細：*パートAと一緒に使用する際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	11 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*支給されたままの状態］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、５０ｇ以上のレジンを一度に硬化させないこと。

混触危険物質
強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
エポキシ樹脂 2	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
エポキシ樹脂 2	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
エポキシ樹脂 1	皮膚	ラット	LD50 > 1,600 mg/kg
エポキシ樹脂 1	経口摂取	ラット	LD50 > 1,000 mg/kg
オルガノシラン	皮膚	ウサギ	LD50　4,000 mg/kg
オルガノシラン	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 5.3 mg/l
オルガノシラン	経口摂取	ラット	LD50　7,010 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂 2	ウサギ	ごく僅かな刺激臭
エポキシ樹脂 1	ウサギ	軽度の刺激
オルガノシラン	ウサギ	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂 2	ウサギ	軽度の刺激

エポキシ樹脂 1	ウサギ	中程度の刺激
オルガノシラン	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂 2	マウス	感作性あり
エポキシ樹脂 1	ヒト及び動物	感作性あり
オルガノシラン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂 1	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
エポキシ樹脂 2	In vivo	変異原性なし
エポキシ樹脂 2	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エポキシ樹脂 1	In vivo	変異原性なし
エポキシ樹脂 1	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
オルガノシラン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
オルガノシラン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
エポキシ樹脂 1	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
オルガノシラン	皮膚	マウス	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エポキシ樹脂 2	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	妊娠期間中
エポキシ樹脂 1	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂 1	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
エポキシ樹脂 1	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 300 mg/kg/日	器官発生期
エポキシ樹脂 1	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	2 世代
オルガノシラン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	1 世代
オルガノシラン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	1 世代
オルガノシラン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3,000 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エポキシ樹脂 1	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エポキシ樹脂 2	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 2	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	90 日
エポキシ樹脂 1	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 年
エポキシ樹脂 1	皮膚	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
エポキシ樹脂 1	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂 1	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂 1	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂 1	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂 1	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂 1	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
エポキシ樹脂 1	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000	28 日

					mg/kg/日	
オルガノシラン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	免疫系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
オルガノシラン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
エポキシ樹脂 2	30583-72-3	液状化	実験	3 時間	NOEC	1,000 mg/l
エポキシ樹脂 2	30583-72-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
エポキシ樹脂 2	30583-72-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	11.5 mg/l
エポキシ樹脂 1	25068-38-6	液状化	推定値	3 時間	IC50	>100 mg/l

エポキシ樹脂1	25068-38-6	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>11 mg/l
エポキシ樹脂1	25068-38-6	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2 mg/l
エポキシ樹脂1	25068-38-6	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エポキシ樹脂1	25068-38-6	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	4.2 mg/l
エポキシ樹脂1	25068-38-6	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.3 mg/l
オルガノシラン	2530-83-8	鯉	実験	96 時間	LC50	55 mg/l
オルガノシラン	2530-83-8	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	350 mg/l
オルガノシラン	2530-83-8	無脊椎動物	実験	48 時間	LC50	324 mg/l
オルガノシラン	2530-83-8	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	130 mg/l
オルガノシラン	2530-83-8	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
オルガノシラン	2530-83-8	液状化	実験	3 時間	EC50	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エポキシ樹脂2	30583-72-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0.1 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
エポキシ樹脂1	25068-38-6	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	5 %BOD/COD	OECD 301F
エポキシ樹脂1	25068-38-6	推定値 加水分解		加水分解性半減期	117 時間 (t 1/2)	
オルガノシラン	2530-83-8	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	37 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die-Away試験
オルガノシラン	2530-83-8	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	6.5 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
エポキシ樹脂2	30583-72-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.84	
エポキシ樹脂1	25068-38-6	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.242	
オルガノシラ	2530-83-8	実験 生態濃		オクタノール	0.5	EPI suite™

ン		縮		/水　分配係数		

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達　基発第３１２号の３の別添１「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」
労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達　基準第１８２号の２
消防法：第四類第三石油類
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
化管法：指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
エポキシ樹脂 1	4,4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2,3-エポキシプロパンの重縮合物(液状のものに限る)	該当	該当	該当
オルガノシラン	トリメトキシ-[3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル]シラン	適用しない	適用しない	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
オルガノシラン	トリメトキシ-[3-(オキシラン-2-イルメトキシ)プロピル] シラン	693	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.
セクション２：絵表示 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：眼および顔面保護 情報修正.
セクション８：保護具 - エプロンについて 情報の追加.
セクション８：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の追加.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除.
セクション９：動粘性率情報 情報修正.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：蒸気圧 情報修正.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報の削除.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報の追加.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2024, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	05-6783-4	**版**	13.00
発行日	2024/06/27	**前発行日**	2024/01/18

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

Ｓｃｏｔｃｈ－Ｗｅｌｄ　ＤＰ－１０５（クリア）　Ｐａｒｔ　Ａ

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

構造用接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性（経口）： 区分４
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分３
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H302	飲み込むと有害
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P330	口をすすぐこと。
P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。　眼の損傷・刺激性は類似混合物の評価結果に基づき、分類基準に合致しない。　類似混合物で皮膚腐食性／刺激性の評価試験が行われ、その結果が割り当てられた分類に反映されている。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
メルカプタンポリマー	72244-98-5	85 - 99
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	1 - 10
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	< 3

ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	2.9
トリエチレンテトラミン	112-24-3	1.2

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
硫黄酸化物	燃焼中
毒性蒸気、微粒子	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管
特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
トリエチレンテトラミン	112-24-3	AIHA	TWA:6 mg/m3(1 ppm)	皮膚
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	ACGIH	TWA:0.05 ppm;STEL:0.15 ppm	皮膚吸収の危険性。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具
特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	無色
臭い	強メルカプタン臭。
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=93.3 °C
引火点	>=93.3 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*データはない。*
燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	<=13.3 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	*データはない。*

密度	1.15 g/ml
比重	1.15 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	10,435 mm2/sec
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	< 20 g/l ［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*パートBと一緒に使用した際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	1.5 %［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*パートBと一緒に使用した際］
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	<= 35 g/l ［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］［*詳細：*支給されたままの状態］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、５０ｇ以上のレジンを一度に硬化させないこと。

混触危険物質
知見はない。

危険有害な分解物

物質	**条件**
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
皮膚に接触すると有害のおそれ。　軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
飲み込むと有害　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

追加情報
アミン類に感作経験がある場合は、他のアミン類に対しても交差感作反応をおこす。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
メルカプタンポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,200 mg/kg
メルカプタンポリマー	経口摂取	ラット	LD50　2,600 mg/kg
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	皮膚	ラット	LD50　2,150 mg/kg
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	経口摂取	ラット	LD50　4,500 mg/kg
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	皮膚	ウサギ	LD50　311 mg/kg
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 3.4 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 2.2 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	経口摂取	ラット	LD50　571 mg/kg

トリエチレンテトラミン	皮膚	ウサギ	LD50　550 mg/kg
トリエチレンテトラミン	経口摂取	ラット	LD50　2,500 mg/kg
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	皮膚	ウサギ	LD50　1,233 mg/kg
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	経口摂取	ラット	LD50　> 300, < 681　　mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	ウサギ	軽度の刺激
メルカプタンポリマー	ウサギ	刺激性なし
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	ウサギ	刺激物
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	ウサギ	腐食性
トリエチレンテトラミン	ウサギ	腐食性
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	In vitro data	腐食性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	ウサギ	軽度の刺激
メルカプタンポリマー	ウサギ	軽度の刺激
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	ウサギ	激しい刺激
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	ウサギ	腐食性
トリエチレンテトラミン	ウサギ	腐食性
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	類似健康有害性	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メルカプタンポリマー	マウス	感作性あり
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	マウス	感作性あり
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	多種類の動物種	区分に該当しない。
トリエチレンテトラミン	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
メルカプタンポリマー	In vitro	変異原性なし
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	In vitro	変異原性なし

ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	In vivo	変異原性なし
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	In vitro	変異原性なし

発がん性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	授乳期早期交配
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	43 日
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 12 mg/kg/日	器官発生期
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	授乳期早期交配
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	29 日
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メルカプタンポリマー	経口摂取	造血器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 75 mg/kg/day	90 日
メルカプタンポリマー	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	90 日
メルカプタンポリマー	経口摂取	内分泌系 | 心臓 | 皮膚 | 免疫システム | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
N,N'-ビス(2-アミノエ	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類に	ラット	NOAEL 300	43 日

チル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物			は不十分。		mg/kg/day	
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	皮膚	皮膚 | 心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 8 mg/kg/day	90 日
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	吸入した場合	皮膚 | 内分泌系 | 眼 | 呼吸器系 | 心臓 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 神経系 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.038 mg/l	14 週
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	経口摂取	消化管 | 肝臓 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	7 日
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	経口摂取	心臓 | 内分泌系 | 造血器系 | 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 220 mg/kg/day	7 日
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 120 mg/kg/day	90 日

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分３：水生生物に有害。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
メルカプタンポリマー	72244-98-5	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
メルカプタンポリマー	72244-98-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>733 mg/l
メルカプタンポリマー	72244-98-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	12 mg/l
メルカプタンポリマー	72244-98-5	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	87 mg/l
メルカプタンポリマー	72244-98-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	338 mg/l
メルカプタンポリマー	72244-98-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	3.5 mg/l
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	4.1 mg/l
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>4.1 mg/l
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	48 mg/l
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.11 mg/l
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミ	26950-63-0	液状化	実験	3 時間	EC10	38 mg/l

ン・2-メチルオキシラン重合物						
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	液状化	実験	30 分	EC20	650 mg/l
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	バクテリア	実験	17 時間	EC10	210 mg/l
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	ゴールデンオルフェ（鯉）	実験	96 時間	LC50	>=146.6 mg/l
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	50 mg/l
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	緑藻類	実験	72 時間	EC10	>100 mg/l
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	12 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	液状化	実験	30 分	EC20	>720 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	24 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	102 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	131.2 mg/l
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	5 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	27.4 mg/l
トリエチレン	112-24-3	グッピー	実験	96 時間	LC50	570 mg/l

テトラミン						
トリエチレンテトラミン	112-24-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	37.4 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.468 mg/l
トリエチレンテトラミン	112-24-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	2.86 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メルカプタンポリマー	72244-98-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	5 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	4 %BOD/ThOD	OECD 301F
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン・2-メチルオキシラン重合物	26950-63-0	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	>1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
トリエチレンテトラミン	112-24-3	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メルカプタンポリマー	72244-98-5	推定値 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	>1.2	
N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミ	26950-63-0	不明 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-2.42	

ン・2-メチルオキシラン重合物						
1,8-ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン	6674-22-2	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<3.6	OECD305-生体濃縮度試験
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	3033-62-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	-0.339	OECD107　log Kow フラスコ振騰法
トリエチレンテトラミン	112-24-3	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<5.0	OECD305-生体濃縮度試験

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
地方労働局長宛て通達　エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について　昭和57年6月8日基発第339号
消防法：第四類第三石油類
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
化管法：第２種指定化学物質
本製品は下表の毒物及び劇物取締法の情報が表示されている物質を含むが、毒物及び劇物取締法の製剤には該当しない。

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
ビス(ジメチルアミノエチル)エーテル	ビス(2-ジメチルアミノエチル)エーテル	該当	該当	該当
トリエチレンテトラミン	N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン	適用しない	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
トリエチレンテトラミン	トリエチレンテトラミン	278	第2種指定化学物質

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
トリエチレンテトラミン	N,N'-ビス(2-アミノエチル)エタン-1,2-ジアミン及びこれを含有する製剤	劇物

16. その他の情報

改訂情報

セクション１５：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」 情報の追加.
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報の追加.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報修正.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報修正.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。